

## 標準寒天培地（混釈用寒天培地）

マイクロバイオ株式会社

### 1. 特徴

この標準寒天培地は検体中の好気的条件下で発育可能な中温性の細菌を迅速に発育させ定量的に測定する事ができます。チューブに試料を入れて転倒混和するだけなので、試料をムラなく簡単に混釈できます。

### 2. 概要

標準寒天培地は、衛生上の指標として好気的で中温性の総細菌数（一般生菌数）を把握するのに用いられます。発育して来るコロニー数が多い場合は衛生上の取り扱いが悪かった事が予想され、又食中毒の病原菌などの多くが好気的な中温菌である事から検体中に危害微生物が含まれる確率が高いことが示唆されます。食品衛生法には、大多数の食品について食品分野別に試料 1ml 中に存在する一般生菌数の上限の規格が定められています。

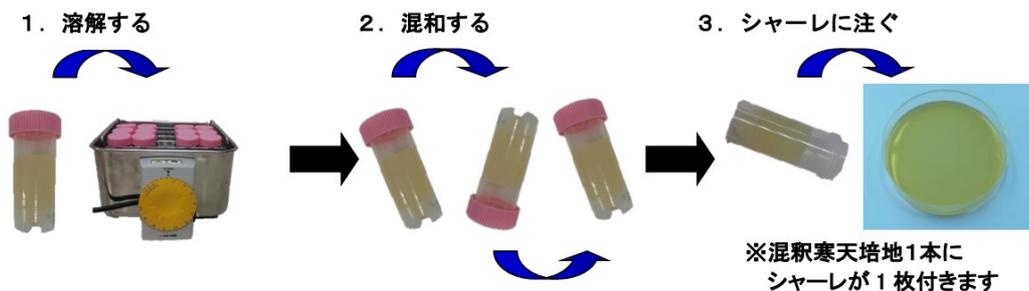
### 3. 使用方法

3-1 95℃程度で30分ほど湯せんします。

3-2 湯せん後、45℃～50℃の培地溶液に試料を添加して混和し、これをシャーレに静かに流し入れます。

（シャーレに試料を入れておいて、湯せんした培地溶液を流し込んでも、混釈できます。）

※ 使用法（お徳用シャーレ付ACM）



※ お徳用 ACM のひと箱に湯せん用フローターがサービスで添付されています。



### 4. 培地の保管方法

培地は、常温の暗所で保管して下さい。

### 5. 試験成績書

以下のページは、培地性能の参考資料です。各ロットには、このような試験成績書が添付されます。

# 試験成績書

製品番号 ACM002

製品名 標準寒天培地  
(混釈寒天培地)

製造番号 E07CB

使用期限 2021年7月31日



マイクロバイオ株式会社

品質管理部

## <性状試験>

試験項目	規格	判定
外観	淡黄色な培地 異物、気泡を認めない	適合
pH	6.8±0.2	適合
無菌試験	菌の発育を認めない (25±2°C 7日間)	適合

## <培養試験>

試験菌株	接種菌数	培養温度	培養時間	判定
<i>Escherichia coli</i> NBRC 3972	100CFU 以下	35°C	36時間	接種菌の出現集落数は、標準化された菌液の計測値の1/2～2倍以内。有効性が確認された培地パッチで以前に得られた発育と同等の発育を認める。
<i>Staphylococcus aureus</i> NBRC 13276	100CFU 以下	35°C	36時間	
<i>Bacillus subtilis</i> NBRC 3134	100CFU 以下	35°C	36時間	
<i>Candida albicans</i> NBRC 1594	100CFU 以下	35°C	36時間	
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275	100CFU 以下	35°C	36時間	

## <合否判定>

総合判定日	2021年 5月14日	総合判定	適合
-------	-------------	------	----

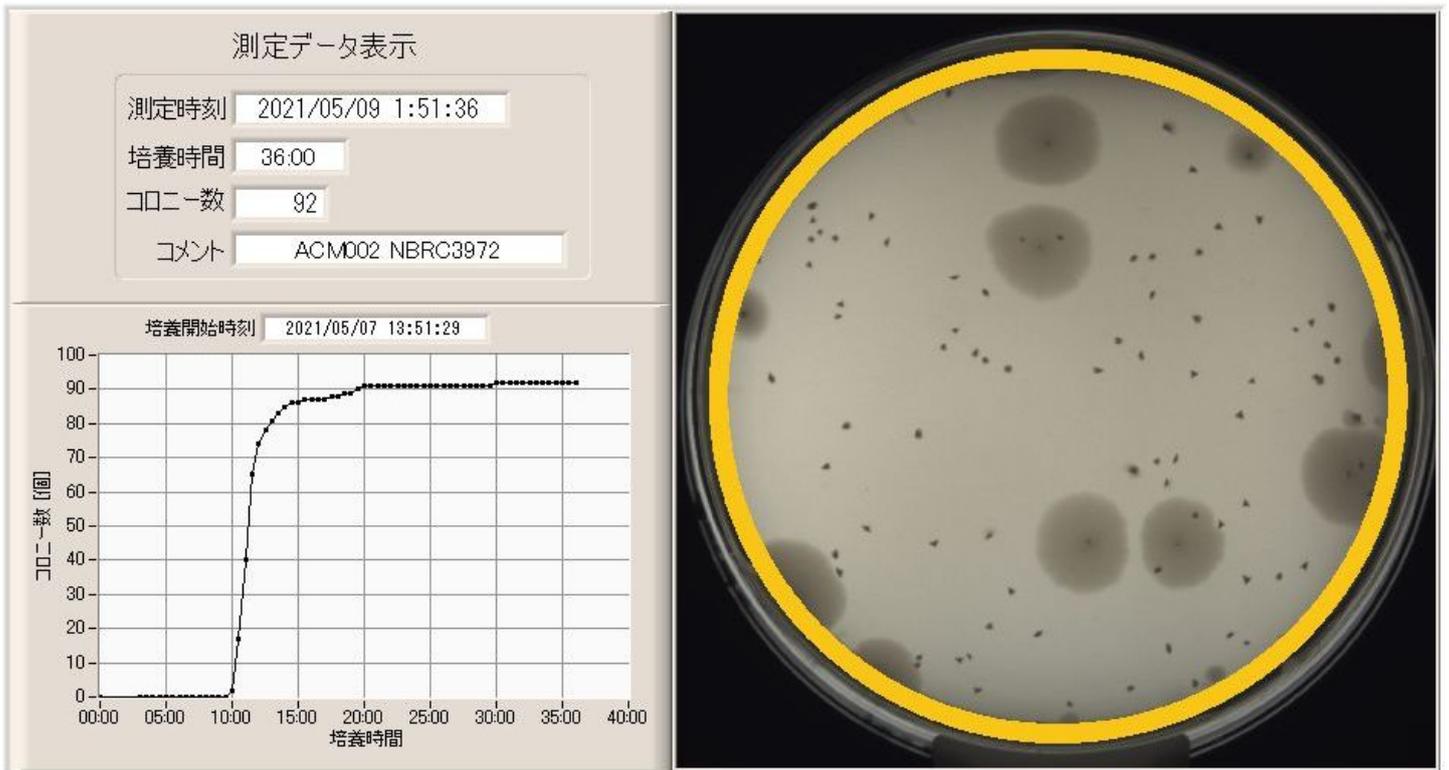


図1 . 標準菌株 *Escherichia coli* NBRC 3972 の発育画像

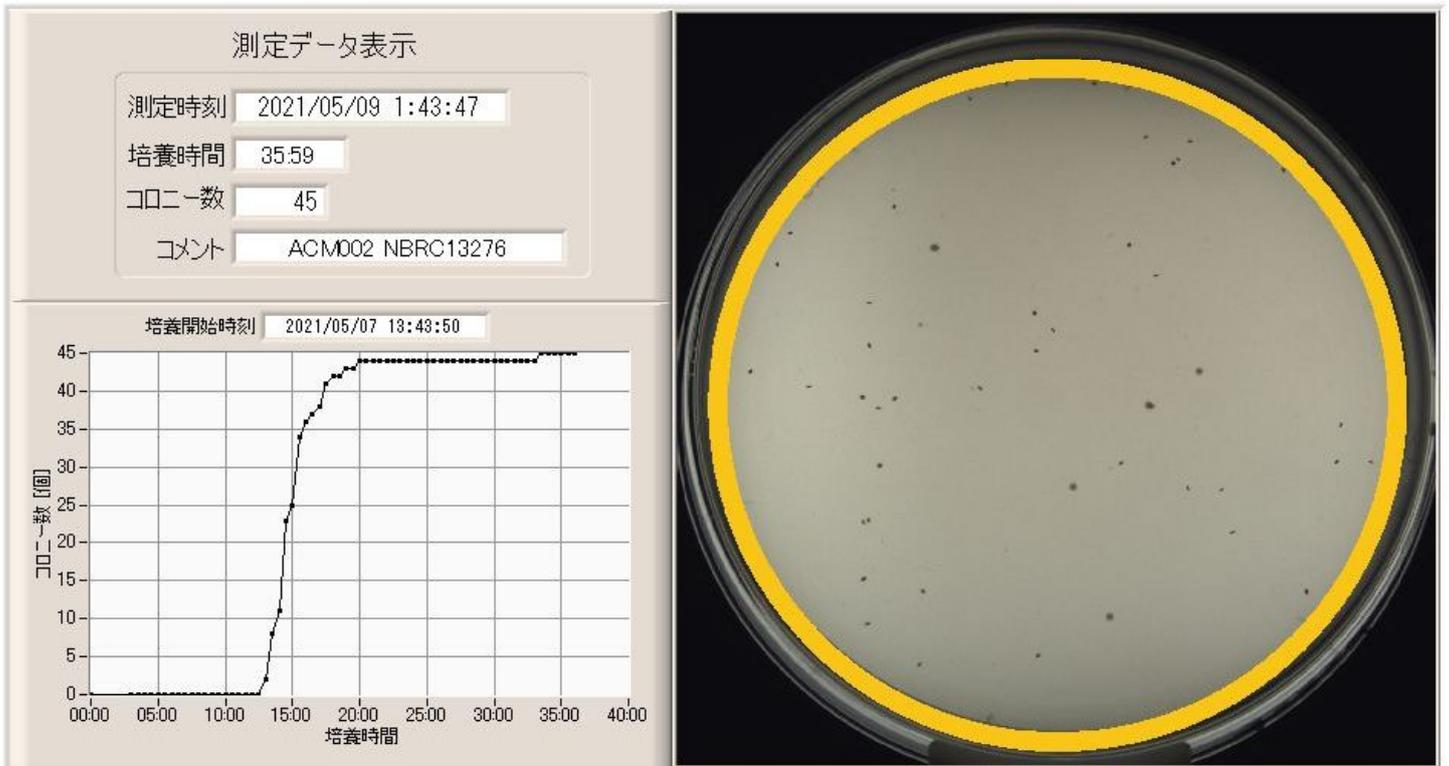


図2 . 標準菌株 *Staphylococcus aureus* NBRC 13276 の発育画像

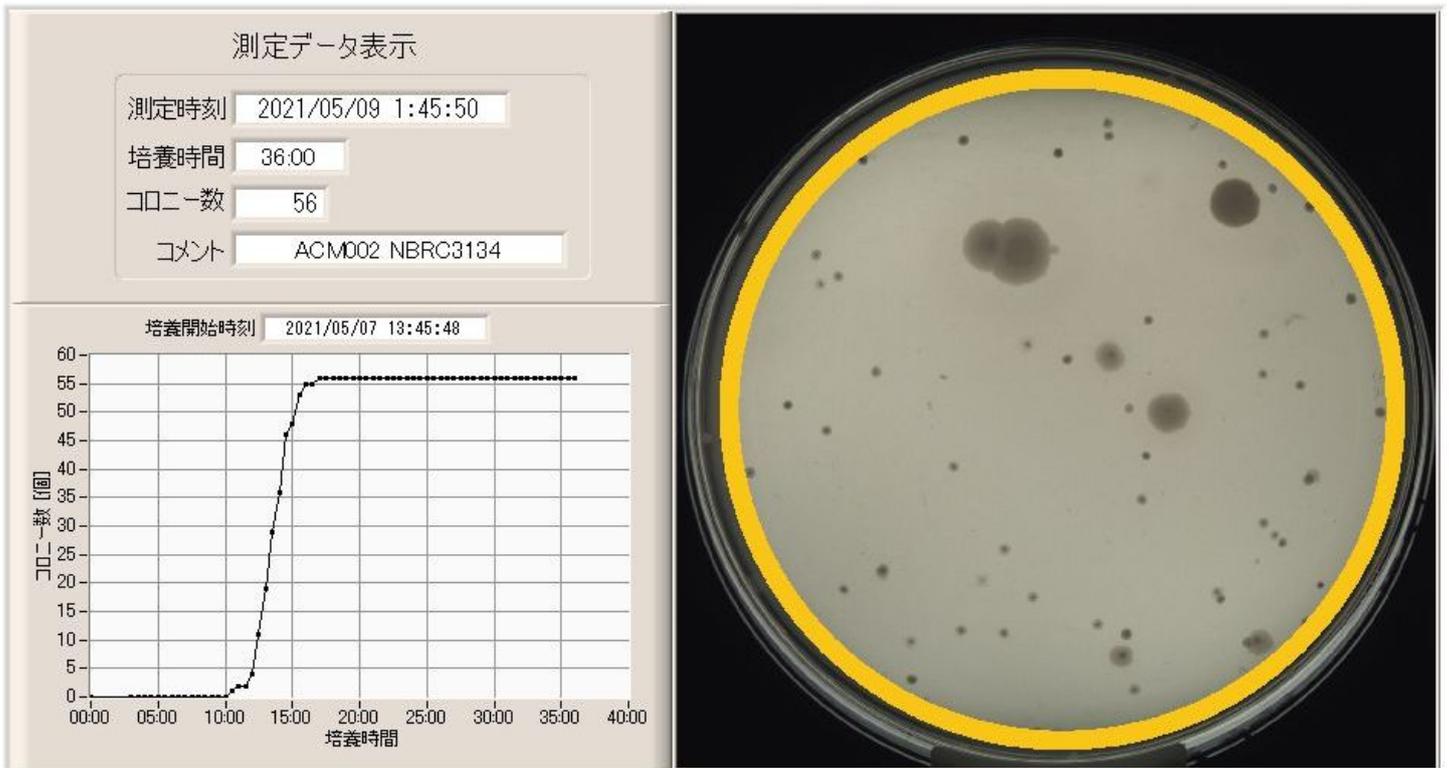


図3. 標準菌株 *Bacillus subtilis* NBRC 3134 の発育画像

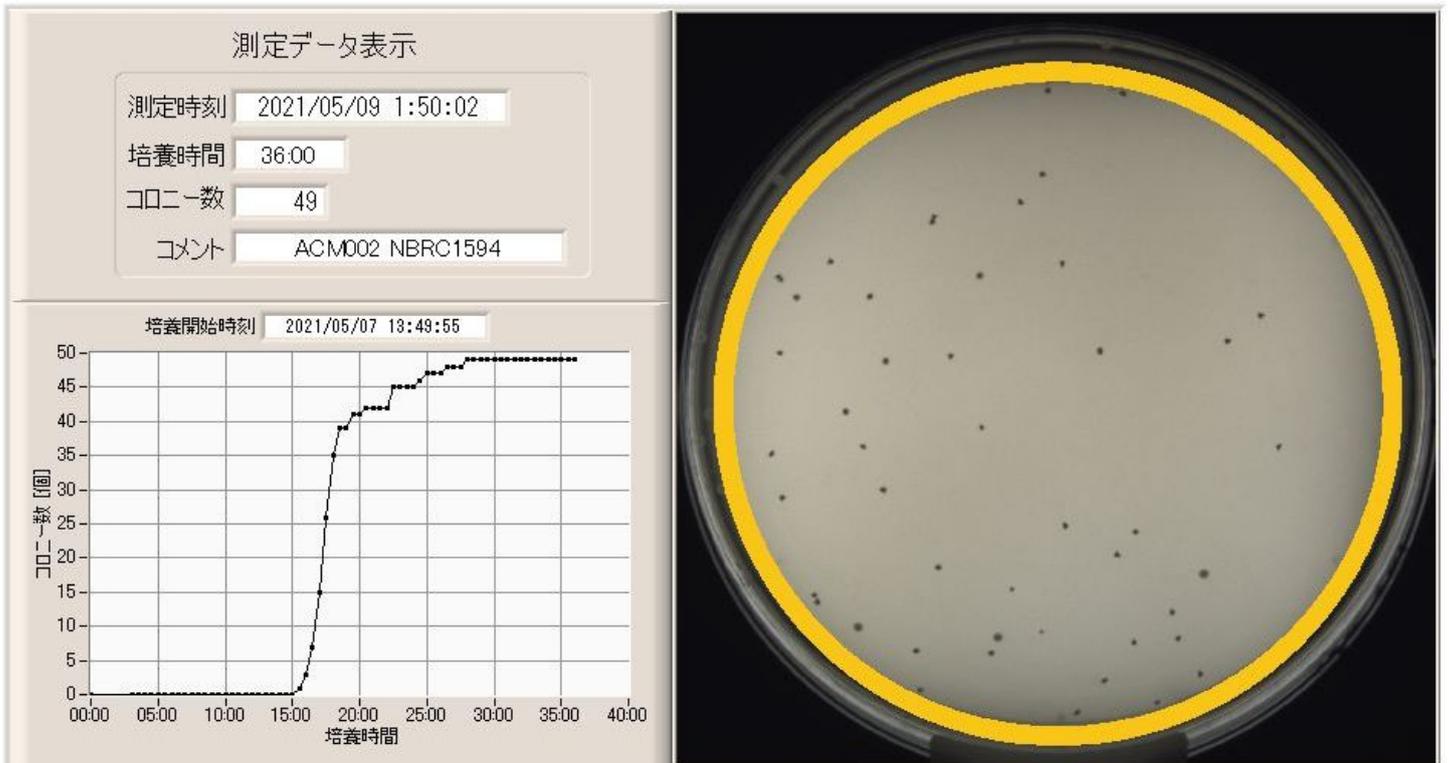


図4. 標準菌株 *Candida albicans* NBRC 1594 の発育画像

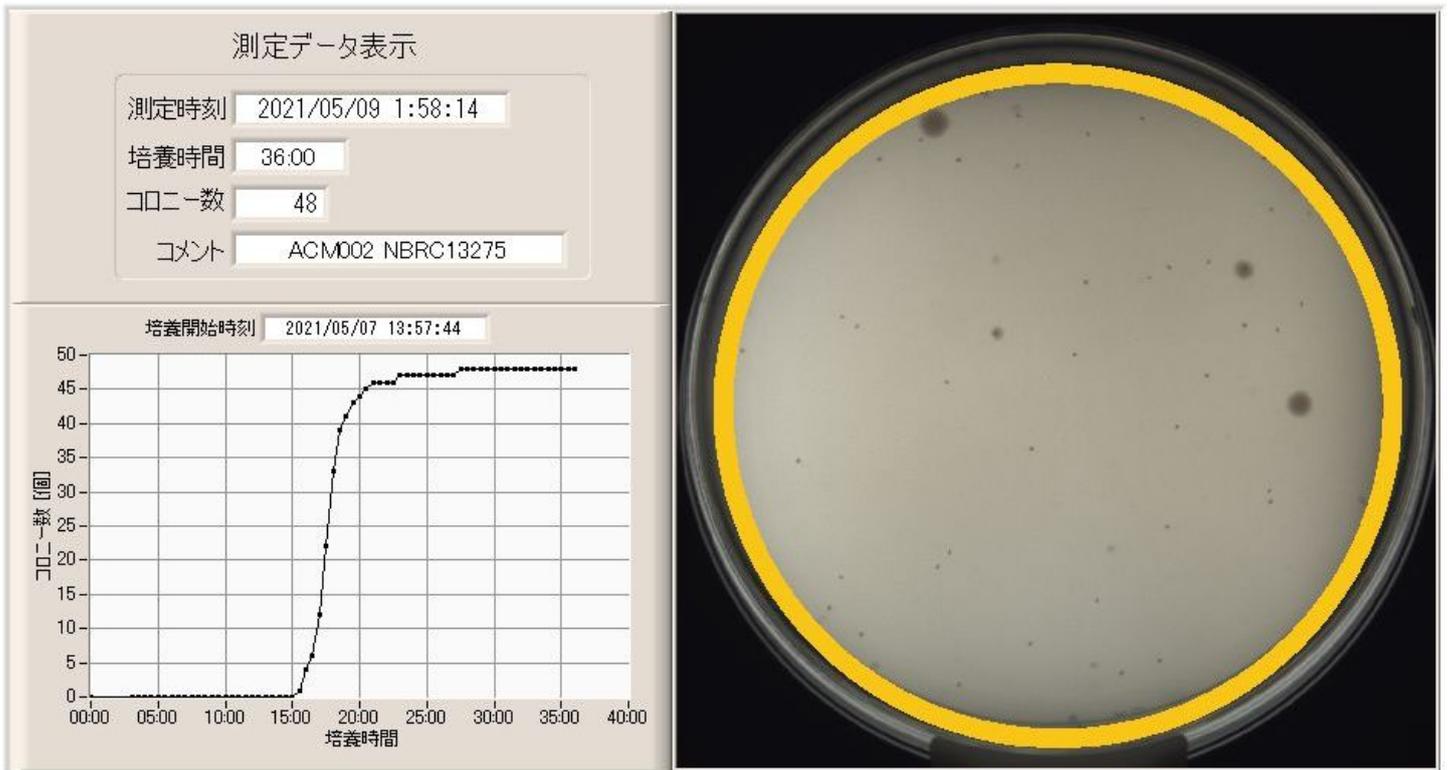


図5. 標準菌株 *Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275 の発育画像